

NO NUKES DAY 大きく成功

数万人が
「原発ゼロ」の
声あげる

原発ゼロをめざす中央集会

主催：原発をなくす全国連絡会 2013. 6. 2 明治公園



6月2日、原発をなくす全国連絡会が主催した「原発ゼロをめざす中央集会」(明治公園)に1万8千人、さようなら原発1000万署名市民の会が主催した「6.2つながろうフクシマ!さようなら原発集会」に7500人、その2つが合流した「国会大包围」には6万人が参加しました。参加者は「再稼働反対」「原発をなくそう」「再稼働ありきの新規規制基準反対」など、政府に対して大きな声をあげました。

原発ゼロは、国民の声です いまこそ政府は決断を!

福島原発事故は 「収束」していない 汚染水の海洋投棄は言語道断

福島原発は、事故の真ただ中にあります。とりわけ放射能汚染水の問題はきわめて深刻です。放射能汚染水に含まれている放射性物質の総量は、事故で大気中に放出されたものの約10倍と推定されるほど巨大な量です。それが外部に流出する危機的事態の瀬戸際にまできているのが福島原発の実態です。

「汚染水はいずれ海に捨てればよい」「海に捨てれば薄まる」という無責任な姿勢をとってきた国と東電に大きな責任があります。汚染水の海洋投棄など言語道断です。

「再稼働先にありき」の ずさんな「新規規制基準」

原子力規制委員会は、7月中旬にむけて新規規制基準作りを急いでいます。しかし、福島原発事故は「収束」しておらず、事故原因も明らかにされていません。しかも最初は「新安全基準」だったものが「新規規制基準」に名前を変えざるをえませんでした。世界でも有数の地震国である日本で、ずさんな規制基準に適合すれば再稼働OKというのは、「スケジュール先にありき」「再稼働先にありき」と言わざるをえません。

 **全労連** 全国労働組合総連合

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 TEL (03) 5842-5611 FAX (03) 5842-5620
<http://www.zenroren.gr.jp>

2013.6